

『主の確かな臨在に感謝！』 エレミヤ書33章1～9節 2015.12.27(礼拝説教より)

『わたしを呼べ。そうすれば、わたしは、あなたに答え、あなたの知らない、理解を越えた大いなる事を、あなたに告げよう。』
エレミヤ33:3

◆『わたしを呼べ』と神がイスラエルの民に語りかけられた時、彼らは国家存亡の危機状態。神は預言者を次々と遣わし、悔改めて神へ立ち返るように声かけ続けたが、彼らは神を軽んじ、ますます頑固になり、御心から遠く離れた！『彼らはわたしに顔ではなく背を向けた(エレミヤ 32:32)』。すぐ隣におられるお方に背中を向ける！これ以上の悲しみは他にない！この1年、すぐ傍にいて、あなたに語りかけ、「守り、助け、導くよ！」と言われるお方に顔を向け、『助けてください』と神を呼び、その助け、導きをいただかれたでしょうか？その方に愛され、守られている安心を実感した1年だったでしょうか？何よりも、自分にはいつも神様の助けと憐れみが必要なのだと実感しておられるでしょうか？

◆この1年間をかけて、宗教法人取得に取り組んだ。祈られて本当に支えられた！次々と細かい指摘を受け、修正に次ぐ修正を経て、認証～法人登記完了へ！最大の難関が「所有権移転登記」だった！登記官は「移転の原因」が不明と言う。名義変更不能なら、法人取得の意味はない。全て無駄だったかと思うも、とにかく「わたしを呼べ」と言われ、『助けてください！』と祈りに祈った。すぐに法務局から電話があるも「調べたがやはり難しい」とのこと。ふと導きを感じ「寄附証書」の話を再度すると「それならOK」と即解決！まるで主は、私が聖名を絶望の中から呼ぶのを待っておられたかのような拍子抜けするほどの結末！

◆敵地の捕虜、異郷の地の奴隷となった民に対して神は、『その地に根を張り、信仰をもって住み着き、何より敵地の繁栄を祈れ！その地の繁栄は、あなたがたの繁栄となる(29:5～7)』と助言。祖国にあらうと敵地にあらうと、順境でも逆境でも、変わらず聖名を呼び、御旨を聴き、従う！これが人生の祝福！人の最大の幸せは、『敵を愛し、迫害するものを祝福し、その忌まわしい状況・相手の幸せを祈ること！』。真の信仰者だけがこれができる！本物の活ける神を知っている者だけが、この逆説的、驚異的、本物の幸せを手にする！これまでも、新しい年も、『助けてください』と聖名を呼びつつ、臨在を実感しつつ歩もう！